

プロパン需要高気温続き6カ月続きの前年割れ
サウジから5カ月ぶりに輸入
～10月LPガス需給実績（5日集計）～

日本LPガス協会が28日にとりまとめた「LPガス需給統計」（5日集計）によると、10月のLPガス需要（元売出荷ベース）は前年同月比0.9%増の958千トンとなった。前月に続く前年比プラスとなった。プロパン需要は6カ月続けてのマイナスだが、ブタンは25.7%増と前月に続く大幅増となった。これに対して供給は、輸入が前月の低水準を下回る687千トンにとどまった。国内生産も前月に続き低調だったが前年10月に比べると石油精製分、石油化学分ともに伸びて合計166千トンとなった。供給計は853千トンとなった。この結果10月末の一次基地在庫は月間105千トン減の1,838千トンだった。前年同月末比では100.4%となった。うちランニング在庫は719千トンで同93.1%。9月末の在庫高がスポット輸入手当てを低調にした結果だ。

1. <生産>10月の国内LPガス生産量は、石油精製分が前月比66千トン減、前年同月比17.1%増の123千トン、石油化学分が前月比13千トン増、前年同月比16.2%増の43千トンとなった。

10月の原油処理量（精製業者分）は前月比2.1%減、前年同月比7.0%増の1,382万k lだった。9月の原油処理は消費税の増税を前にガソリンや灯油の仮需が見込まれたことで高水準だったが、10月はその反動で前月比減少となった。しかし、昨年10月の処理量が大幅低水準だったことから前年比では処理は増加。加えて製油所でのLPガス自家消費も減少したため、LPガスの製油所分生産量（＝市場出荷量）は17.1%増となったもの。

石油化学での生産は、エチレン生産量が559千トンで前月比4.8%増、前年同月比1.2%増となった。10月にはエチレンプラントの定修はゼロ。昨年10月の定修は1社1プラントだった。稼働率は94.6%となった。このため併産LPガスが増加、市場出荷量も43千トンまで増えたもの。

2. <輸入>10月の輸入は687千トンで前月比31千トン、前年同月比では14.7%（118千トン）のそれぞれ大幅減少となった。9月末一次基地在庫超高水準だったこと、需要の低迷も予測されたことから、9月に続き10月のスポット輸入も手控えられた。それでもなお極東には米国からのカーゴが入着を続け、高率関税で米国産LPガスを輸入できない中国事情と相まって、極東市場では米国産プロパンがジャブジャブ状態を続けた。だが、下旬になるとやはり需要期直前。それまでの極東CFR市場のCFR中国とCFR日本の乖離は縮小。日本勢も買いの動きを見せ始めた。

10月の国別輸入状況は、北米が529千トン（うちカナダ66千トン）、サウジ45千トン、アブダビ24千トン、オーストラリア90千トン。サウジアラビアからの輸入は5月以来のこと。北米からの輸入比率は77.0%。なおプロパンに限ると543千トン輸入のうち北米が482千トンで88.7%となっている。ターム契約による中東からの輸入＝船積みはもっと多いが、今や米国のプロパン輸出は年間3,300万トン超ペースとなっており、アジア・極東地域には米国カーゴがどんどん流入、勢いトレーディングによる米国玉の輸入も高比率となる。

3. <総需要と一般用需要>10月のLPガストータル需要は、プロパンが前年同月比5.1%減の723千ト、ブタンが同25.7%増の235千ト、合計で同0.9%増の958千トとなった。プロパンのマイナスは6か月続き。ブタンのプラスは2か月連続。一般用需要に限ると、プロパンが5.1%減の723千ト、ブタンが24.6%増の223千ト、合計が0.5%増の946千ト。中小販売事業者で消費税増税前の仮需の反動減がみられた。ガソリンや灯油などマス石油製品需要にもそれぞれ前年同月比4.2%減、23.8%減と仮需反動の影響がみられた。

10月の気温は、北日本が平年比1.5℃高、東日本は同2.1℃高、西日本が同1.8℃高。異常な高気温に加え、省エネ機器の普及や家庭での節エネによる需要低迷で家庭用プロパン需要は構造的に低調になっている。ただ、LPガスGHPの増加が低調な需要をある程度下支えしている。

4. <輸入船直納需要> 鉄鋼用と電力用の受入れはゼロだったが、化学原料用はブタン受入れが続き12千ト(昨年9月はブタン8千ト)。直納需要計は前年同月比50.0%増となった。昨年9月の直納需要計はプロパンゼロ、ブタン8千ト。

5. <在庫> 以上のような需給の結果、10月末の一次基地在庫は9月末比105千ト減の1,838千トとなった。昨年10月末比100.4%。うちランニング在庫は719千トで9月末比117千ト減、前年同月末比93.1%と大幅に減少した。11月の輸入スポット買いは増加している。10月末法定備蓄量は1,119千ト。2月から民間備蓄日数が50日分から40日分に軽減されている。

10月のLPガス需給実績は次のとおり（単位・千^トン、カッコ内は前年比%）。

	プロパン	ブタン	合計
月初在庫	1,372 (111.7)	571 (112.8)	1,943 (112.1)
ランニング分	571 (104.7)	265 (109.4)	836 (106.1)
法定備蓄	801	306	1,107
<供給>			
石油精製分生産	87 (104.8)	36 (163.6)	123 (117.1)
石油化学分生産	23 (104.5)	20 (133.3)	43 (116.2)
輸入	543 (82.0)	144 (100.7)	687 (85.3)
供給計	653 (85.1)	200 (111.1)	853 (90.1)
<出荷>			
一般用	723 (94.9)	223 (124.6)	946 (100.5)
鉄鋼用	0 (--)	0 (--)	0 (--)
化学原料用	0 (--)	12 (150.0)	12 (150.0)
電力用	0 (--)	0 (--)	0 (--)
輸入船直納計	0 (--)	12 (150.0)	12 (150.0)
出荷計	723 (94.9)	235 (125.7)	958 (100.9)
<在庫>			
月末在庫	1,302 (99.0)	536 (104.1)	1,838 (100.4)
ランニング分	488 (90.7)	231 (98.7)	719 (93.1)
法定備蓄	814	305	1,119

（注）在庫は一次基地在庫